



地域を支える消防団の1年が始まる 茅野市消防出初式

1月11日、「茅野市消防出初式」が開催され、各地区の団員が集結しました。式では、分列行進や梯子乗りの披露、表彰式が行われ、消防団の1年がスタートしました。

市役所前通り(白岩観音前～JR茅野駅東口)で行われた分列行進には、団長以下411人、車両43台が参加しました。行進後には、ちの分団第一部(上原)による梯子乗りの披露が行われ、力強い技に大きな拍手が贈られました。茅野市民館で行われた式典では、消防団活動の功労者に対して、表彰が行われました。



選手の栄誉を讃え、次なる飛躍を激励 全国大会出場(スピードスケート)市長報告会

1月9日、市役所で、「第75回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会」に出場する茅野市出身の選手による市長報告会が行われました。

報告会には、鷲尾清龍さん、戸田晃生さん、長田未央果さん、多賀谷文乃さん、大江赳弘さん、吉田晃生さんの計6名が訪れ、大会への意気込みを話し、今井市長が選手たちに激励の言葉を贈りました。

報告会後、選手たちは1月22日に栃木県で開催された全国大会に臨みました。



茅野市民生児童委員 感謝状授与式 茅野市民生児童委員 委嘱書交付式

12月1日、市役所で、「茅野市民生児童委員感謝状授与式」と「茅野市民生児童委員嘱託書交付式」が行われました。

民生児童委員は厚生労働大臣から嘱託され、子育て世帯や高齢者が抱える生活上の困りごとなどについて地域の身近な相談相手として地域福祉活動を支えています。

当日は、任期を終え退任される民生児童委員71名に感謝状が授与され、新しく嘱託される民生児童委員一人ひとりに嘱託書が伝達されました。



大人から子どもまで楽しい絵本に触れる機会を 国際ソロプチミスト諏訪が図書等を寄贈

11月27日、市役所で、国際ソロプチミスト諏訪が大型絵本を含む図書9冊および木製書架両面1台を寄贈する贈呈式が行われました。

今回の寄贈は、国際ソロプチミスト諏訪認証40周年記念奉仕事業の一環として、諏訪地域6市町村の青少年健全育成を目的に行われ、当日は、長田 幸子会長を含む5名の方が贈呈式に参加しました。

現在、贈呈された書架は図書館児童コーナーに設置されています。



社会を明るくする輪を広げる 第75回「社会を明るくする運動」作文コンテスト表彰式

1月20日、第75回「社会を明るくする運動」作文コンテスト表彰式が茅野市役所で開催され、県入選および市優秀賞に選ばれた児童・生徒の表彰が行われました。

このコンテストは、「社会を明るくする運動」の一環として、小・中学生に、日常生活の中で、体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行などに関して考えたことや感じたことを作文にして、この運動に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

当日は、表彰とともに県入選作品3作品の朗読も行われました。今回は市内624点の応募作品から、県入選5点、市優秀賞12点、市入選28点が選ばされました。

本運動に関する取組は、QRコードからご覧いただけます。



テーマ「八ヶ岳西麓地域の脱炭素を考える」 東京大学自治体連携シンポジウム

12月17日、市役所で、東京大学先端科学技術研究センター(以下 先端研)主催のシンポジウムに、茅野市・富士見町・原村の三市町村が参加し、パネル討論等を行いました。今回のシンポジウムは、三市町村と先端研の双方が保有する人的資源やフィールドを有効に活用し、相互に連携して様々な問題点の解決と地域活性化を目指すことを内容とする協定を契機として開催されました。

今回のシンポジウムのように、現場の声と理論の両面から、解決策を導く動きが更に高まっていくことが期待されます。



たくさんの子どもたちを見守ってきました 永明小学校旧校舎の見学会

12月14日、15日、取り壊し前の永明小学校旧校舎の見学会が行われました。

令和6年に永明小中学校新校舎が完成し、今後、メイングラウンドの建設が行われるため、1月に旧校舎の取り壊し作業が開始しました。取り壊し前に、たくさんの思い出が詰まった校舎を多くの方に見てもらうため、見学会が開催され、二日間で約360人が訪れました。

見学会に来た卒業生の方々からは、「思い出が甦ってくる、当時を思い出します」と懐かしむ声が聞こえました。